

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和7年12月9日17時00分
札幌管区気象台
釧路地方気象台

令和7年12月8日23時15分頃の青森県東方沖の地震について ～この地震により「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました～

地震の概要

発生日時	12月8日 23時15分
マグニチュード	7.5(暫定値;速報値7.6から更新)
場所および深さ	青森県東方沖 深さ54km(暫定値;速報値約50kmから更新)
北海道の震度	渡島地方東部で震度5強を観測しました。

○防災上の留意事項

- ・揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどの危険性が高まっていますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意し、危険な場所に立ち入る場合は地震に注意しながらの作業を心がけてください。
- ・この地域では過去に、大地震発生から1週間程度の間に同程度の地震が続発した事例があることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、同程度の揺れをもたらす地震に注意するとともに、さらに強い揺れをもたらす地震が発生する可能性もありますので注意してください。特に地震発生から2~3日程度は、強い揺れをもたらす地震が発生することが多くあります。

- ・今回の地震発生により、気象庁は12月9日02時00分に北海道・三陸沖後発地震注意情報を発表しました。
政府では、防災対応をとるべき地域に対して、地震発生から1週間、「特別な備え(すぐに逃げられる準備)」及び「日頃からの地震への備えの再確認」を実施するよう呼びかけています。引き続き、政府や自治体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとってください。

○地震活動の状況

今回の地震発生後、9日15時00分現在、北海道で震度1以上を観測した地震が12回発生しています。

この資料は速報を使用して作成しています。データは後日変更することがあります。

この資料に関する問合せ先：釧路地方気象台 TEL 0154-31-5146

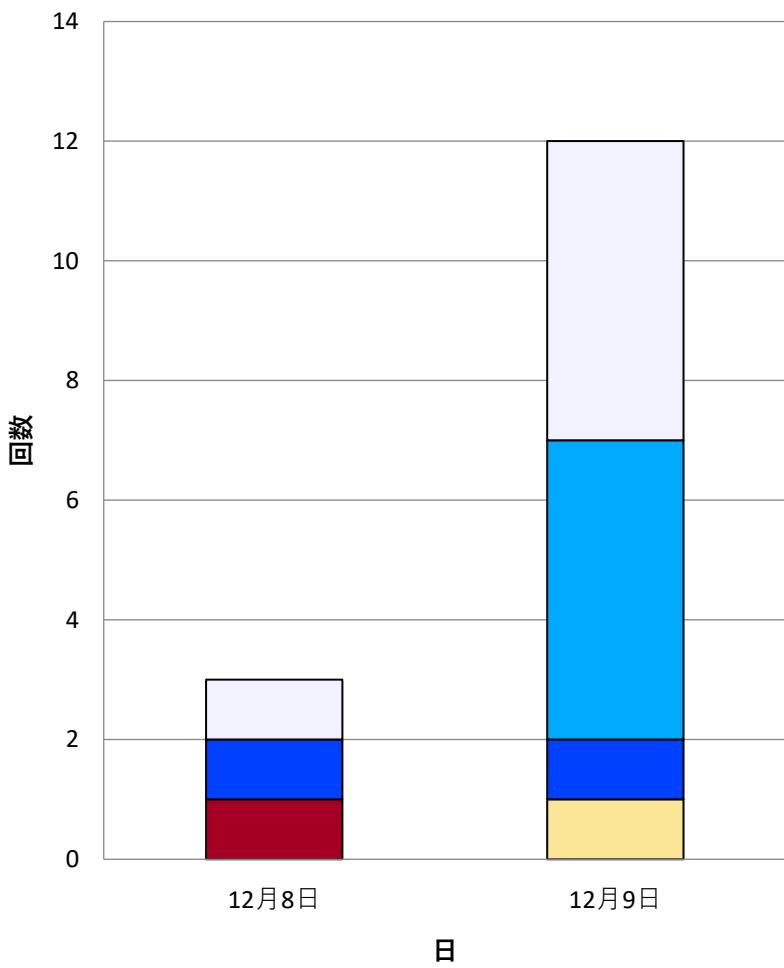
震度1以上の地震の発生状況

【最大震度別・日時別地震回数表】

(12月8日23時～12月9日14時)

日別	最大震度別回数										震度1以上を観測した回数
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	
12/8 23時-24時	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
12/9 00時-01時	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
01時-02時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
02時-03時	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
03時-04時	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
04時-05時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
05時-06時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
06時-07時	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
07時-08時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
08時-09時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
09時-10時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10時-11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11時-12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12時-13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13時-14時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
総計	6	5	2	1	0	0	0	0	1	0	15

【日別地震回数図】



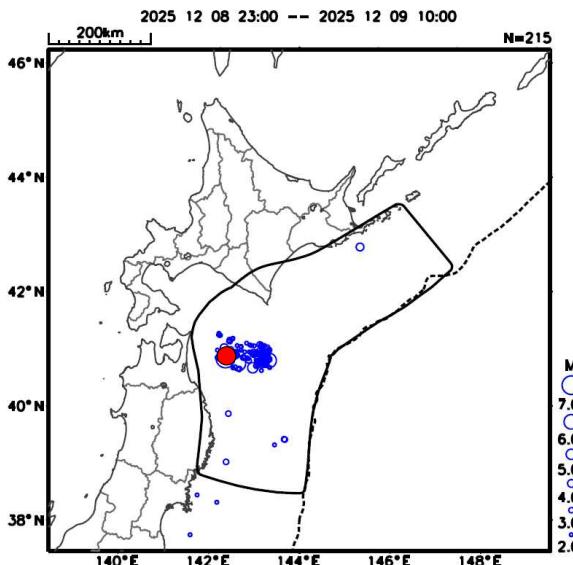
※掲載している地震回数は速報値であり、後日の調査で変更になることがある。

■6強 ■6弱 ■5強 ■5弱 ■4 ■3 ■2 □1

今回の地震活動

震央分布図（広域図）

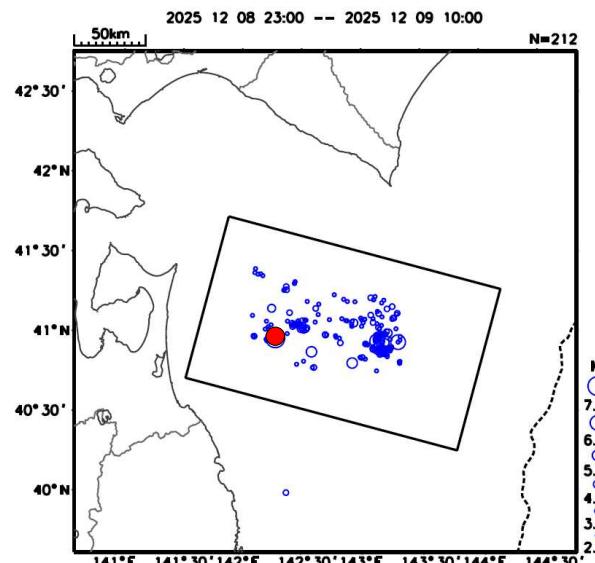
深さ0 -- 100km、 M 全て



震央分布図（詳細図）

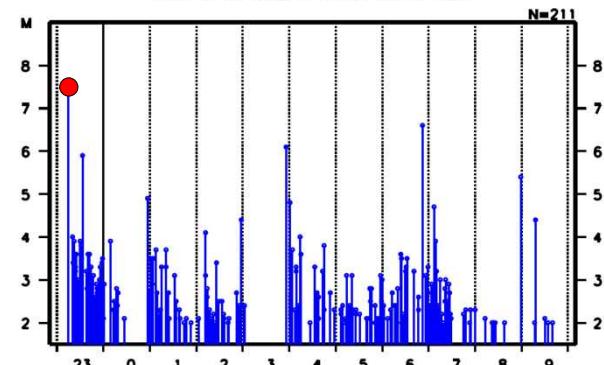
震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図

深さ0 -- 100km、 M 全て



震央分布図（詳細図）の地震活動経過図

2025 12 08 23:00 -- 2025 12 09 10:00



(震源の色について)赤色：今回の地震、青色：今回の地震より後に発生した地震

- 震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。

<資料の利用上の留意点>

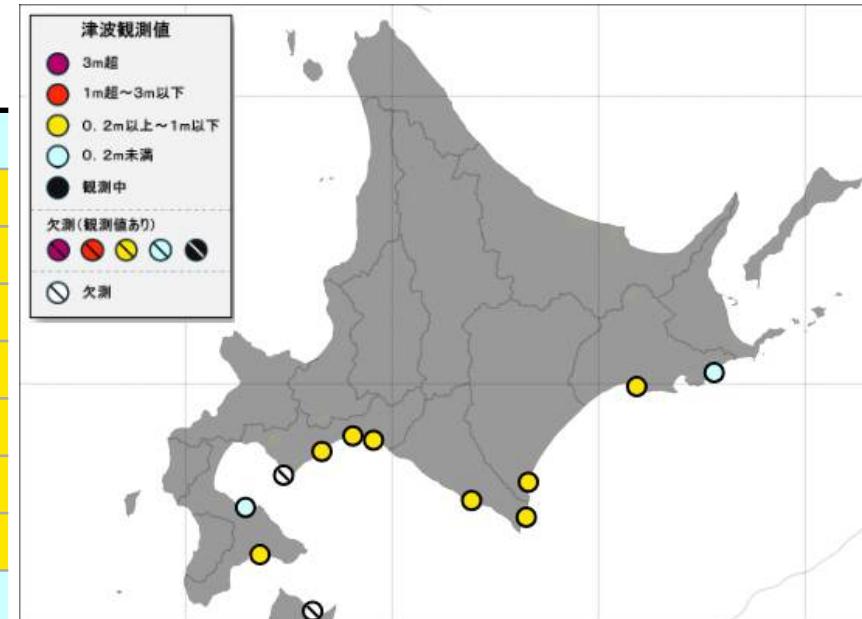
- 表示している震源は、速報値を含みます。
- 速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- 個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握をご利用ください。

北海道の津波の観測状況

【主な観測点の観測値】

観測点名	該当予報区名	第一波 到達時刻	これまでの 最大波	高さ
浜中町霧多布港	北海道太平洋沿岸東部	--	9日03:56	0.1m
釧路	北海道太平洋沿岸東部	--	9日03:46	0.2m
浦河	北海道太平洋沿岸中部	8日23:38	9日00:38	0.5m
十勝港	北海道太平洋沿岸中部	9日00:00	9日01:30	0.3m
えりも町庶野	北海道太平洋沿岸中部	8日23:45	9日00:16	0.3m
苫小牧西港	北海道太平洋沿岸西部	--	9日05:33	0.3m
苫小牧東港	北海道太平洋沿岸西部	9日00:05	9日01:28	0.2m
白老港	北海道太平洋沿岸西部	8日23:56	9日01:22	0.2m
渡島森港	北海道太平洋沿岸西部	--	9日00:31	0.1m
室蘭港	北海道太平洋沿岸西部	欠測	--	欠測
函館	北海道太平洋沿岸西部	9日00:13	9日01:50	0.2m

12月9日06時22分発表



※検潮所での津波の高さです。沿岸の地形の影響などにより、局所的に高くなることもあります。

※室蘭港の欠測は機器の保守点検のためです。

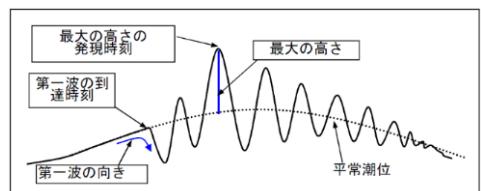
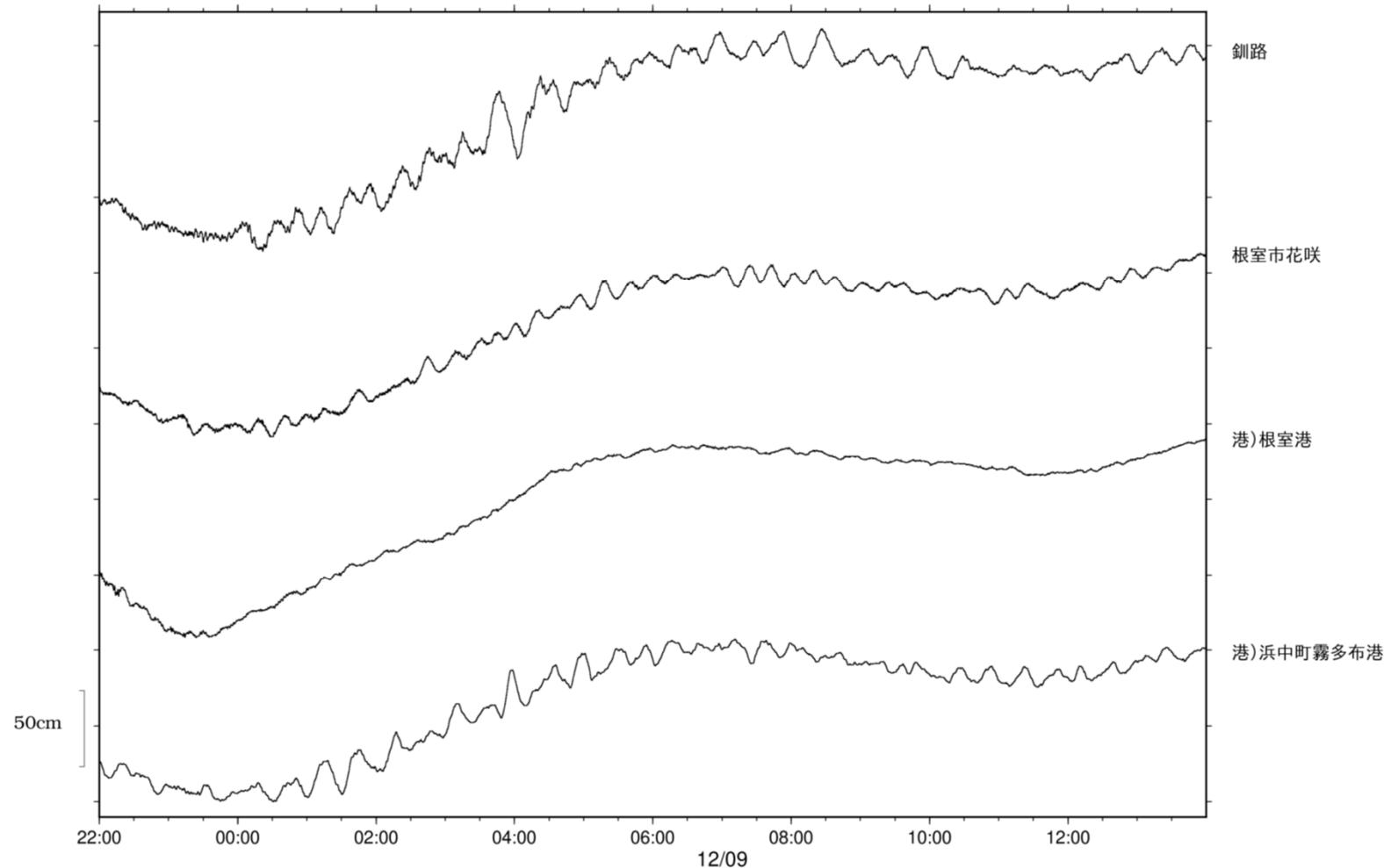
最新の情報は、以下のページでご確認ください。

津波の観測状況:<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>

津波波形図(北海道)

【津波観測状況(潮位波形)】12月9日14時00分現在

北海道太平洋沿岸東部



<津波の観測値について>

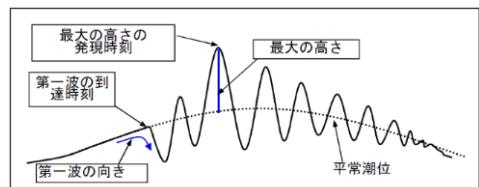
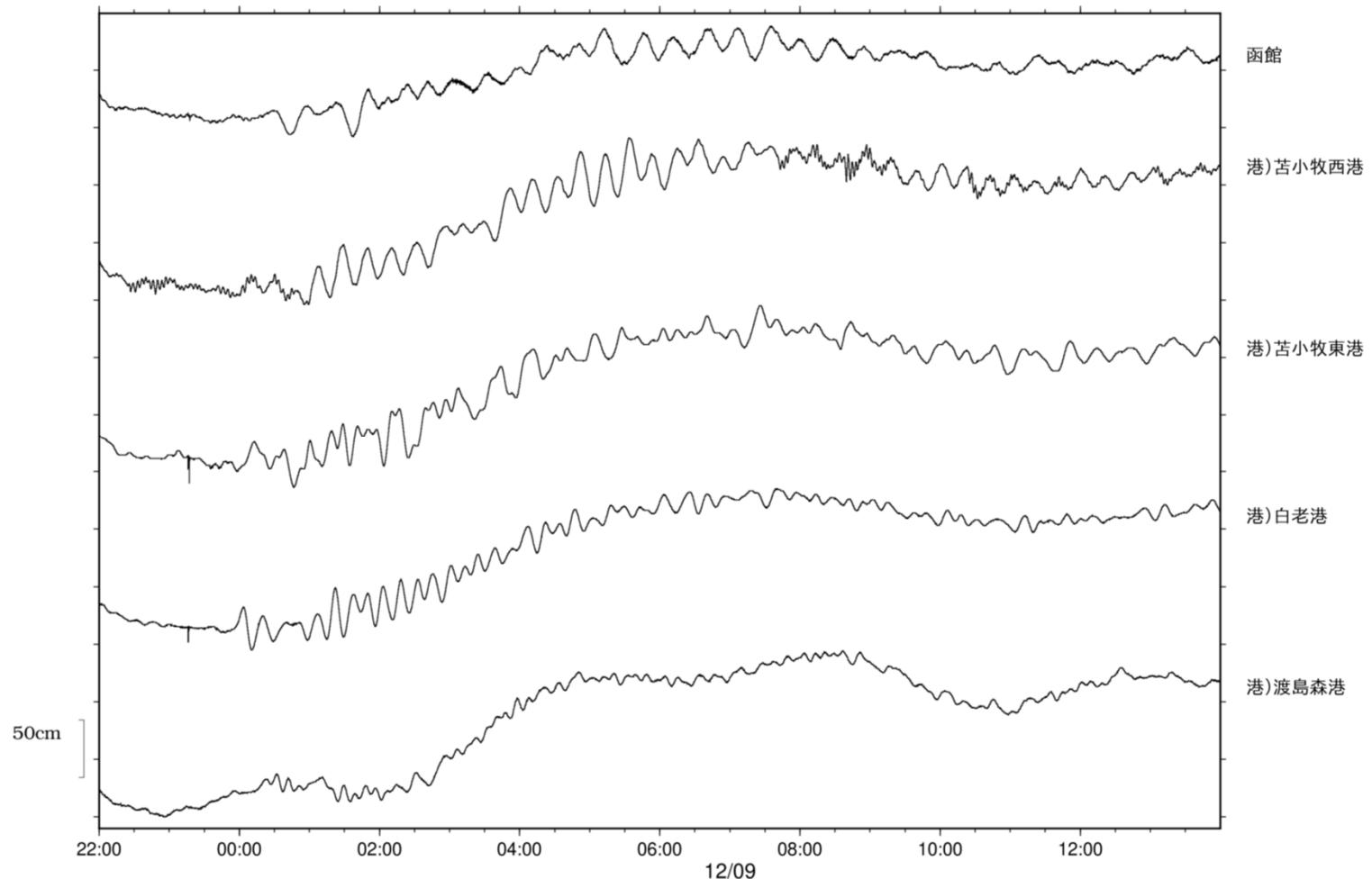
第一波の向きは、下方向が「引き」、上方向が「押し」となる（上図の例の場合は「引き」）。

「津波の高さ」とは、津波がない場合の潮位（平常潮位）と津波による実際の潮位との差のことである。

津波波形図(北海道)

【津波観測状況(潮位波形)】12月9日14時00分現在

北海道太平洋沿岸西部



<津波の観測値について>

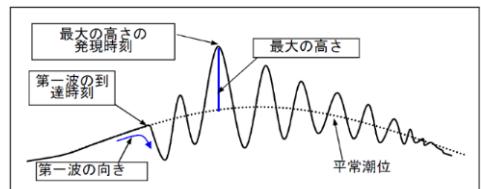
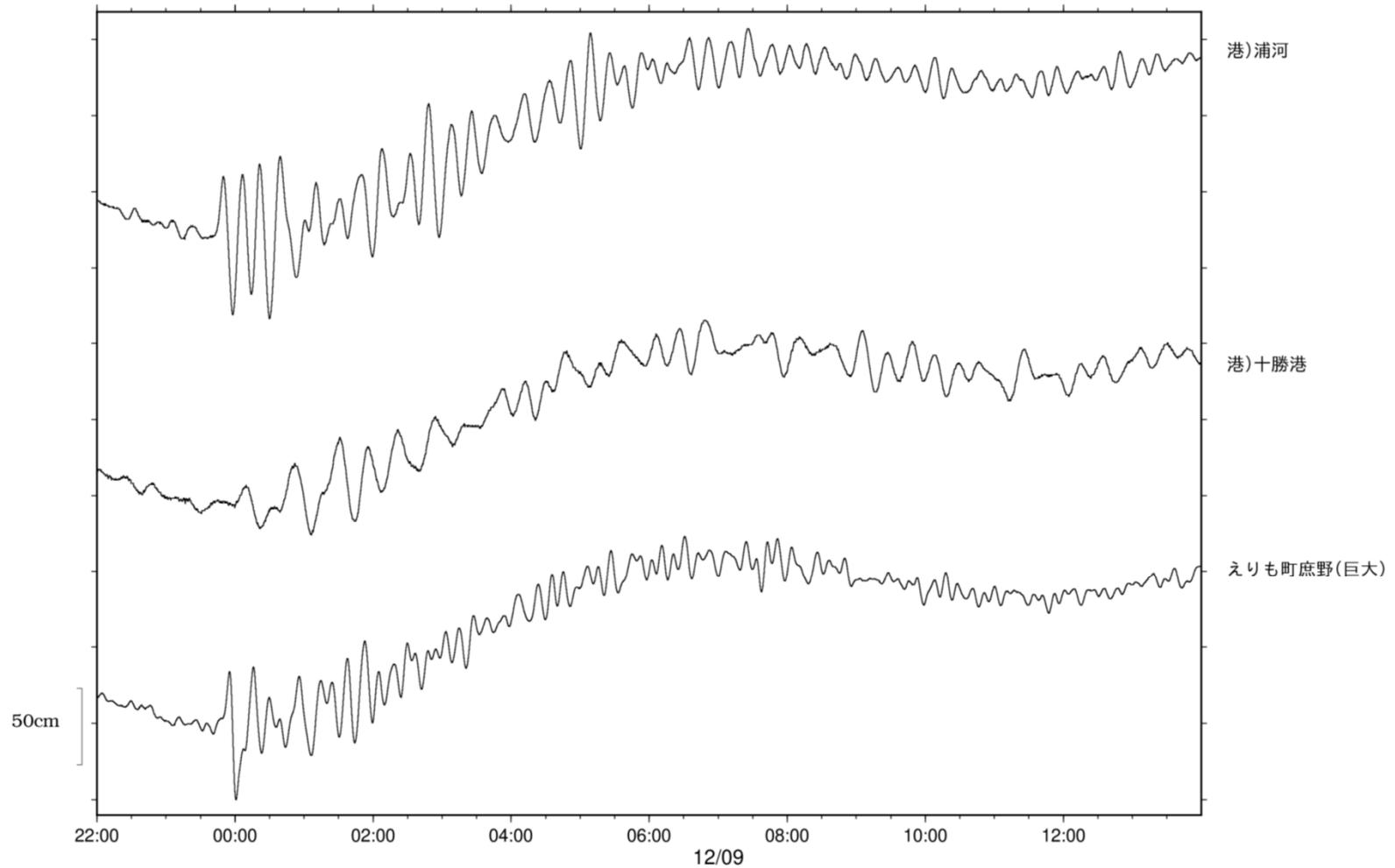
第一波の向きは、下方向が「引き」、上方向が「押し」となる（上図の例の場合は「引き」）。

「津波の高さ」とは、津波がない場合の潮位（平常潮位）と津波による実際の潮位との差のことである。

津波波形図(北海道)

【津波観測状況(潮位波形)】12月9日14時00分現在

北海道太平洋沿岸中部



<津波の観測値について>

第一波の向きは、下方向が「引き」、上方向が「押し」となる（上図の例の場合は「引き」）。

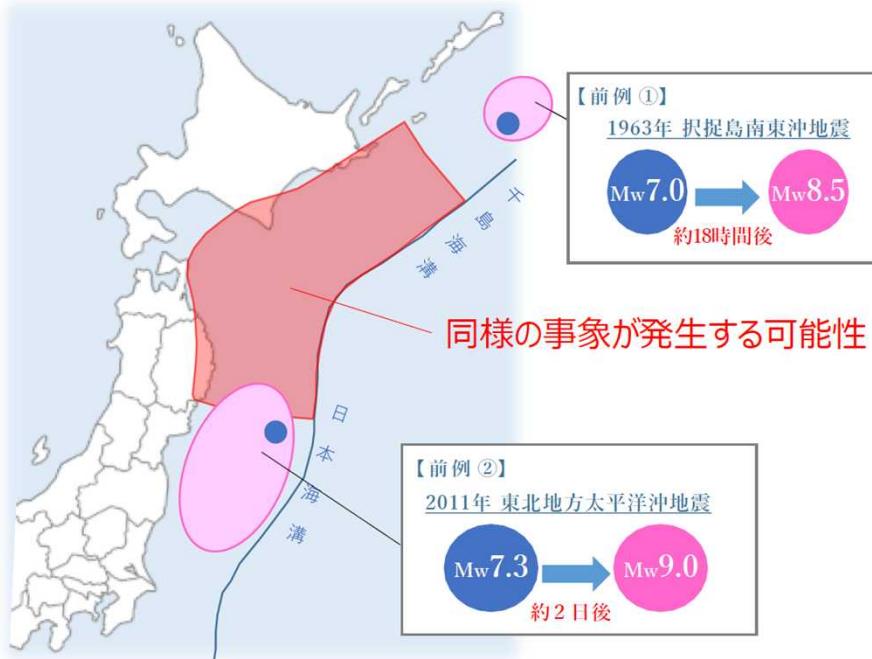
「津波の高さ」とは、津波がない場合の潮位（平常潮位）と津波による実際の潮位との差のことである。

北海道・三陸沖後発地震注意情報

について

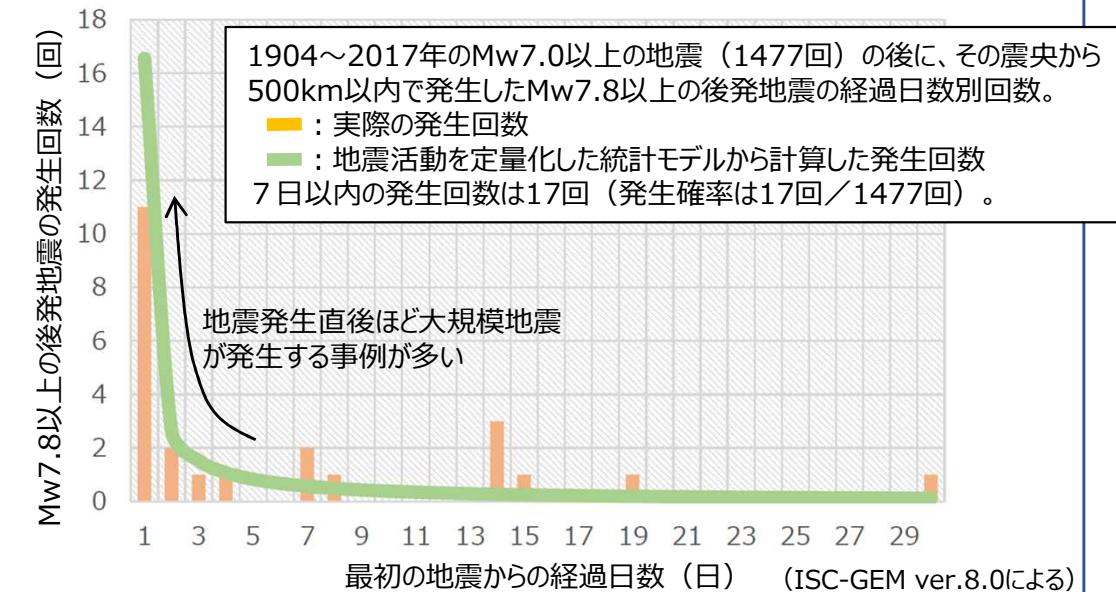
地震が続けて発生した事例

日本海溝・千島海溝沿いの事例



- ・2011年に三陸沖においてMw7.3の地震が発生した2日後にMw9.0の巨大地震（東北地方太平洋沖地震）が発生。
- ・1963年に択捉島南東沖においてMw7.0の地震が発生した18時間後にMw8.5の地震が発生。

過去の世界の事例



・Mw7.0以上の地震発生後、7日以内にMw 8クラス以上（Mw7.8以上）の大規模地震が発生するのは、百回に1回程度。

○「北海道・三陸沖後発地震注意情報」では、後発地震が実際に発生する確率は低いものの、巨大地震が発生した際の甚大な被害を少しでも軽減するために、新たな大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっていることをお知らせします。

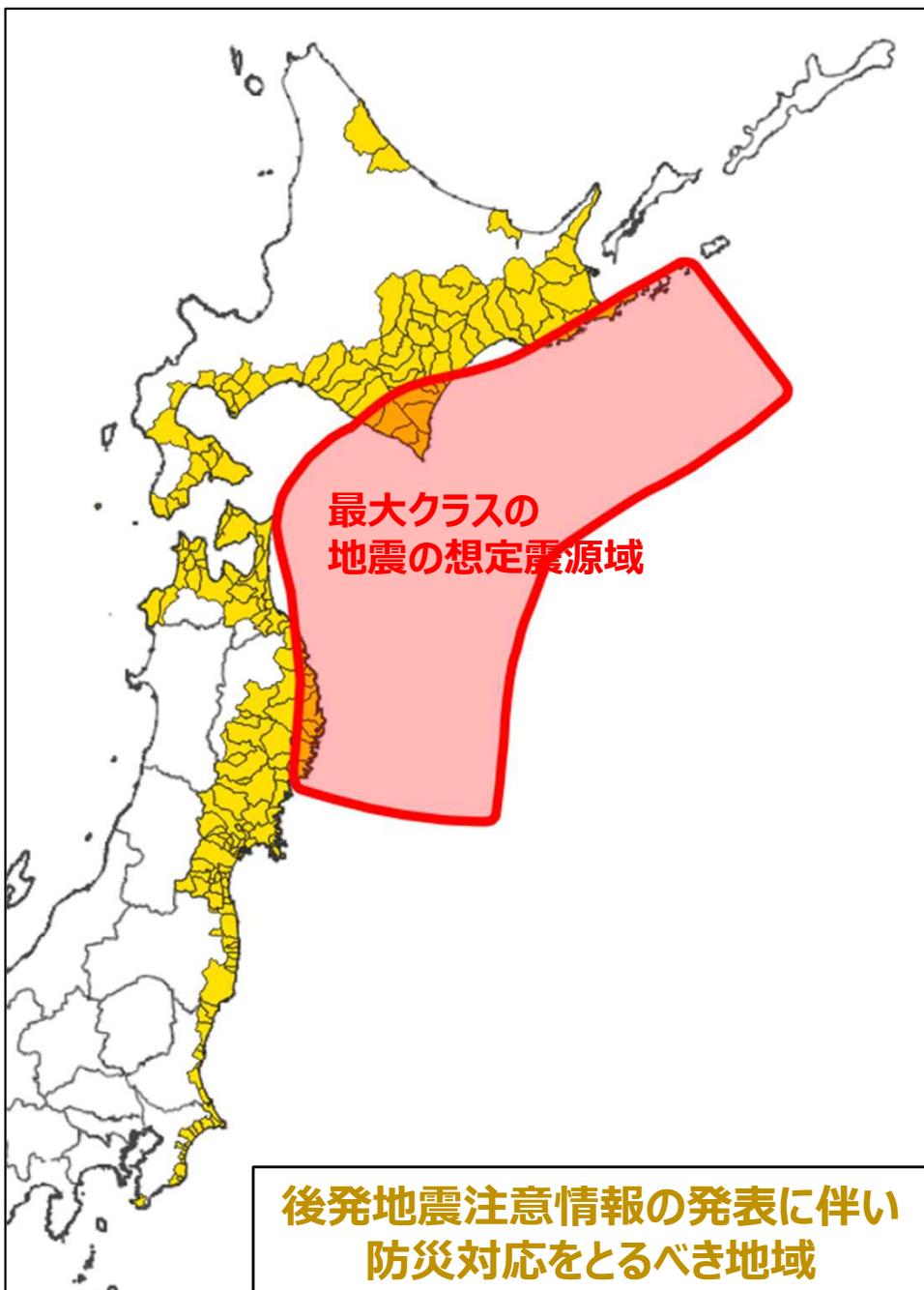
○後発地震が発生する可能性は、先に発生した地震が起った直後ほど高く、時間を経るにつれて低くなっていますが、ゼロになるわけではありません。

北海道・三陸沖後発地震注意情報について

<北海道・三陸沖後発地震注意情報とは>

- 日本海溝・千島海溝沿いの想定震源域で一定規模以上の地震が発生した場合等に、続けて大規模地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まった場合に発表される情報
- 運用開始：令和4年12月
- これまでの発表履歴：1回

後発地震 注意情報 発表日	情報の種類	後発地震注意情報 発表のきっかけとなった現象		
		発生日	震央地名 (地震名 称)	モーメン トマグニ チュード
令和7年12月 9日 02時00分	北海道・三陸沖 後発地震 注意情報	令和7年 12月8日 23時15 分	青森県 東方沖	7.4



「北海道・三陸沖後発地震注意情報」発表時の防災対応

地震時に迅速な避難が必要な場合

揺れを感じたり、津波警報等が発表されたりした場合に、直ちに津波から避難できる態勢の準備

すぐに避難できる態勢での就寝

- すぐに逃げられる服装で就寝
- 子どもや高齢者等、要配慮者と同室で就寝
- 室内で最も安全かつ避難しやすい部屋の使用



非常持出品の常時携帯

- 準備しておいた非常持出品を日中は常時携帯、就寝時は枕元に置く
- 身分証明書や貴重品を常時携帯
- 防寒具等、積雪寒冷に備えた装備を手元に置く



地震によるリスクの高い場所がある場合

想定されるリスクからの身の安全を確保する備え

揺れによる倒壊への備え

- 先発地震で損壊した建物や崩れやすいブロック塀等にはできるだけ近づかない



土砂災害等への注意

- 先発地震により、土砂崩れの危険性が高まっている場所にはできるだけ近づかない
- 崖崩れの恐れがある家では、崖に近い部屋での就寝を控える
- 地震発生後の津波からの避難が困難な地域に立ち入る際は、そのようなリスクのある区域であることを意識して、いつでも避難できるようにする



後発地震に注意し、誰もが実施すべき備え

緊急情報の取得体制の確保

- 携帯電話等の緊急情報を取得できる端末の音量を平時よりも上げておく
- ラジオや防災行政無線の受信機等を日頃生活する空間に配置



日頃からの備えの再確認

- 水や食料等の備蓄の再確認
- 避難場所・避難経路等の再確認
- 家族との連絡手段の再確認
- 家具の固定の再確認
- 自治会単位での訓練等での再確認等



日頃から地震の発生に備えよう

□家具の固定



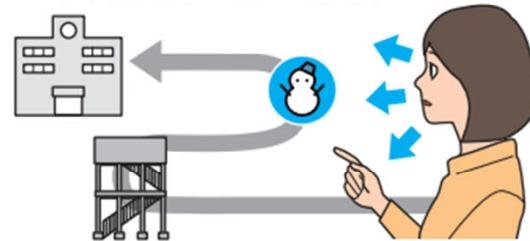
□非常用持ち出し袋の準備



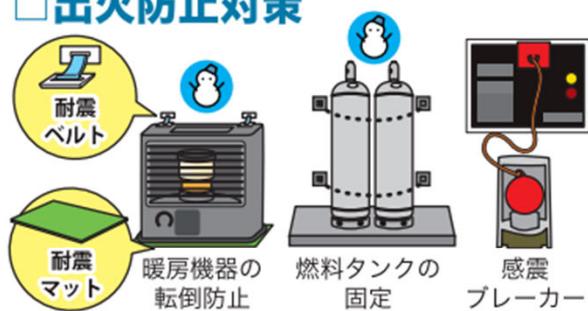
□水や食料の備蓄



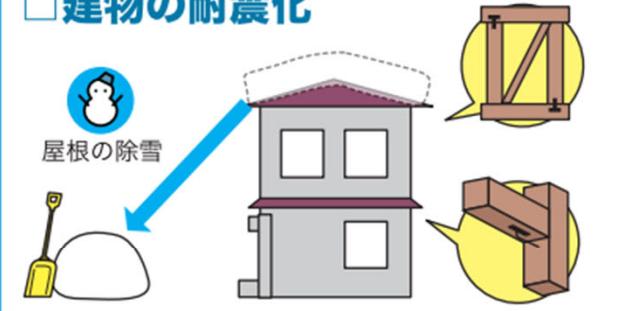
□避難場所や避難経路・ 二次避難経路の確認



□出火防止対策



□建物の耐震化



: 特に積雪寒冷地での備え

突発的に発生し得る地震に備え、自らの命、大切な人の命を守るために、日頃から準備しておきましょう